

＜校長挨拶＞

めまぐるしく変化していく現代社会において、一人ひとりが社会の担い手となり、持続可能な社会を維持・発展させていくこと、また、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じ、地域社会も幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上させていくことが求められています。

本校では、商業と家庭に関する学科を有する専門高校として、入学時より「社会に出るための力を身につけること」を目標とし、様々な体験を取り入れた「実学」重視の学習を通して、卒業後は地域社会を支え、社会に貢献できる人財、共に働きたい人財となるべく努力を重ねています。その学習活動の充実の一つとして「課題研究」に取り組み、生徒の興味・関心や進路希望等に応じて、自己やグループで課題を設定し、地域の多くの方々のご協力も得ながら、専門的な知識・技術の深化、課題解決を図る自発的・創造的な学習を行っています。この「課題研究」を通して、地域の方々から前向きな評価を受ける機会がたくさんあることで、「自分が学んだことを使って、他の人を幸せにできた」と自己有用感を得るなど生徒は学びの喜びや成果を感じる体験を積み重ねていきます。また、商品開発等の経験を通して、「街の活性化や魅力発信のためにさらに貢献したい」と地域社会の発展を願う姿も生まれています。このように、「課題研究」の学びは、本校の特色ある教育活動となり、人と人とのつながり、学びや育ち、成長に欠かせない取り組みであるとともに、よりよい生活の実現、持続可能な社会の実現、ウェルビーイングを主体的に実現できる貴重な学びとなっていることを確信しています。

本日ご来場頂きました皆様におかれましては、筑豊高校生の3年間の軌跡、学びの集大成としての課題研究生徒実践発表会を最後までご覧いただき、また、今後に向けてのご講評・ご助言をいただきたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

「 ALL CHIKUHOU ～WELL-BEING～

生徒も教員も家族も地域も筑豊高校にかかわるすべての人を幸せに 」

福岡県立筑豊高等学校長 石井ひとみ